

new pec(航海用電子参考図)の特徴

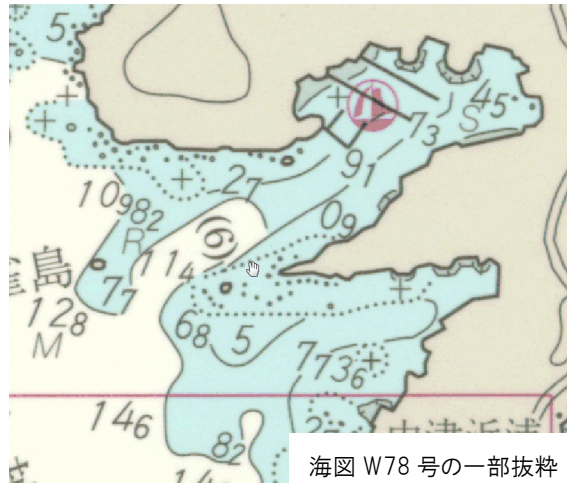
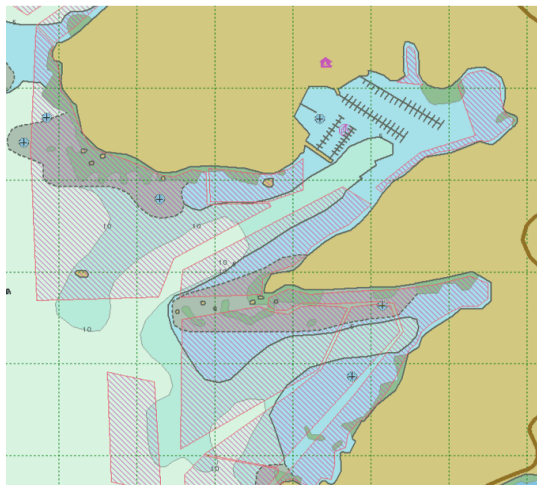
一般財団法人日本水路協会

平成 29 年 3 月 16 日

- 小型船舶用に開発
- 主要航海機器メーカーも採用(約1万人が愛用、スマホ・タブレット向けアプリのアクセス多数)
- 沿岸区域の小型船舶用法定備品として海図に代わるものとして指定(みなし海図)
- 日本全域をカバー(海図約570図分に相当する範囲の情報)
- 全国の詳細な情報が豊富
 - ・ヨット、プレジャーボート等の20トン未満の小型船が利用する小規模の港(マリーナ、海の駅、フィッシャリーナ、小漁港、小港湾)も充実
 - ・大型定置網、区画漁業の漁業権情報を網羅
 - ・精密な海岸線(最大縮尺の海図、国土基本図(1/25,000)、国土基本図(航空写真)から採用)
 - ・道路、建物、コンビニ等の陸域情報、陸上地名にも対応
- 専従6名体制により3ヶ月毎に情報を更新
- 必要に応じて現地調査も実施
- ライセンスの利用体系は、スマホ・タブレット向け各種アプリの提供プラットフォームにも対応

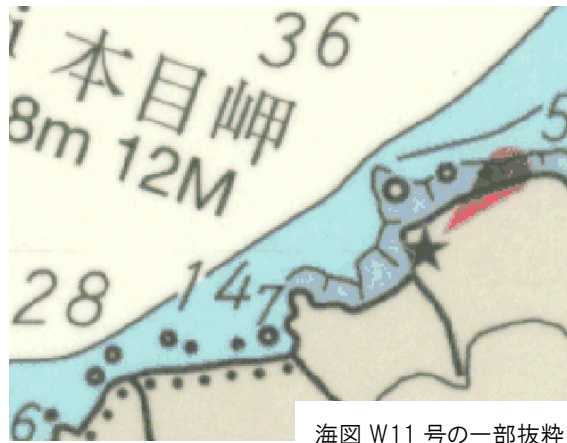
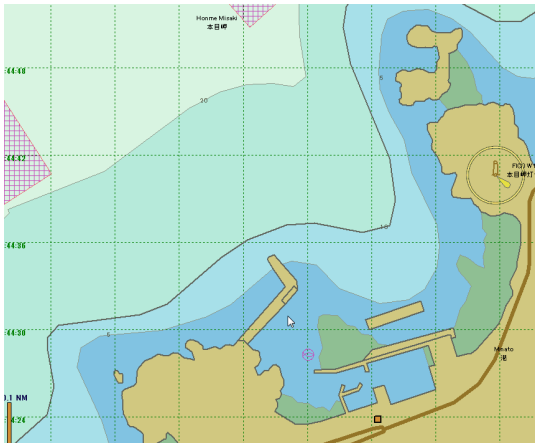
ニューベックと海図の表示比較例

三重県 VOC 志摩ヨットハーバーの場合



海図 W78 号の一部抜粋

北海道 厚瀬(あつちやせ)漁港の場合



海図 W11 号の一部抜粋